ボーリング柱状図

調　査　名	主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横
事業・工事名	主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横

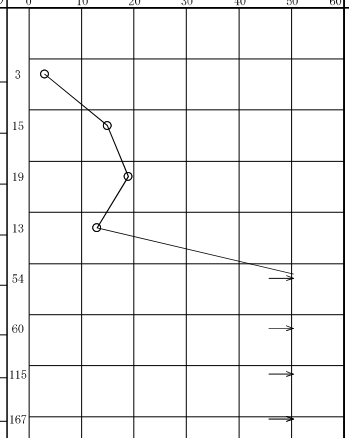
ボーリングNo	5	1	3	2	2	4	3	3	0	0	5

シートNo　5

ボーリング名	Ｎｏ．５	調査位置	呉市警固屋八丁目			北　緯	34° 11’ 42.3686”
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所			調査期間	2019年 5月 27日 ～ 2019年 6月 4日	東　経	132° 32’ 26.0342”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=+36.60m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 38°	使用機種	
総掘進長	8.00m					試錐機	東邦０－Ｄ	ハンマー落下用具	半自動モンケン
						エンジン	ヤンマーＮＦＤ－１３	ポンプ	東邦ＢＧ－３Ｃ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	35.90	0.70	0.70		礫・シルト混り砂	黒褐～淡黄褐	非常に緩い		φ=1.5cm以下の亜円～亜角礫を含み，シルト分を10～30%程度含む。砂分は60%程度で深度0.40以深は中～粗粒砂主体，深度0.40m以浅は葉片・木根・木枝を含む腐葉土。	
1										
2					強風化花崗岩	淡黄褐			コアは棒状で採取される。深度0.70m～1.00m間，深度4.75～5.00m間では棒状コアを呈す。指圧で砂～礫状に崩れる。部分的に粘土化著しいが，未風化の礫分と混在。深度2.95mに約20°の割れ目あり。	
3										6/4 3.40
4										3.90 3.95 6/3 4.94
5	31.60	4.30	5.00							
	31.03	0.57	5.57		風化花崗岩	淡灰褐			ハンマー軽打で礫状に崩れ，長石類の一部は粘土化。	
	30.86	0.17	5.74		風化花崗岩	白灰			短柱状コア。ハンマー打撃で割れ目に沿って割れる。	
6	30.20	0.70	6.40		風化花崗岩	淡灰褐			ハンマー軽打で礫状に崩れ，一部の長石類は粘土化。	
	29.80	0.40	6.80		風化花崗岩	白灰			最大コア長L=20cmの短柱状コア。ハンマー打撃で割れ目沿いに割れる。	
7					風化花崗岩	淡灰褐			ハンマー軽打で棒状に崩れ，一部の長石類は粘土化。	
	28.60	1.20	8.00							
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45 2.15	5	5	5	15／30	15
2.45 3.15	6	7	6	19／30	19
3.45 4.15	5	4	4	13／30	13
4.45 5.15	15	21	14	50／28	54
5.43 6.15	12	23	15／5	50／25	60
6.40 7.10	21	29／3		50／13	115
7.23 8.00	50／9			50／9	167
8.09					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
						5／29
						5／30
						6／3